

サラスワティー・チャーリーサー

ドーハ(祈願)

おお、サラスワティーよ、おお、原初の母よ、おお、神聖な恩恵を受ける者よ、

私はあなたに頭を下げます。

私の額はあなたのハスの足のちりに祝福され、

そして私のあなたへの崇拝は

あなたの知識と力を私に授けます。

あなたの壮麗さは

全宇宙に浸透しており、

あなたの栄光は無限で永遠です。

おお、大いなる母よ、あなたは私を

直ちに浄化する力を与えられています。

第1節

吉兆なる者、完璧なる者、

知識と力の宝庫である、あなたに万歳！

全知、永遠、不滅なる者、あなたに万歳！

ヴィーナを手を持ち、

乗り物である美しい白鳥に乗るあなたに、万歳、万歳、万歳。

第2節

おお、大いなる母よ、4本の腕を持つあなたの姿は
宇宙全体に知られています。
人々のマインドが悪へ向かい、
そして世界の正義の光がかすかになる時…

第3節

…そのような時あなたは
地と天を浄化するために具現します。
あなたの祝福を通して、世界は賢人ヴァールミーキを
神を知る者(ブラフマニヤーニー)として
認識するようになりました。

第4節

あなたの一瞬のまなざしの恩恵で、おお、大いなる母よ、
ヴァールミーキは『ラーマーヤナ』を編さんして
「原初の詩人」の称号を授与され、
詩人カーリダースは名声を得ました。

第5節

トゥルシーダース、スールダース、そして他の博識な詩人たちは
あなたの恩恵を唯一の支えとして頼ってきました、
おお、女神アムバーよ。

第6節

おお、母なるバヴァーニーよ、私はあなたの子どもです。
私の切望を知っているのですから、あなたの恩恵を私に降り注いでください。
おお、私の美しい大いなる母よ、私の過ちについて考えないでください——
それらすべてを許してください！

第7節

おお、大いなる母よ、私は高潔さを守るために
無数の方法で懇願します。
女神ジャガダムバー、万歳、万歳！
この世界で私は、
あなたの支えに頼る孤児のようです。
あなたの恩恵を私に授けてください。

第8節

荒々しい悪魔マドウとカイタバは
5千年間争いから退くことなく
ヴィシュヌ神と戦った。

第9節

女神がヴィシュヌ神と戦う悪魔たちを出し抜いて
長引く戦闘を終わらせたように、
怒り、貪欲、執着という内なる敵を克服するために
大いなる母は私を助けに来て、
私の心の切望を満たす。

第 10 節

おお、大いなる母よ、あなたは稲妻のような速さで
悪名高い悪魔チャンダとムンダを倒し、
まさに大地だけでなく
神々と賢人たちの心も震えさせた、
恐るべき悪魔ラクタビージュを滅ぼしました。

第 11 節

バナナの茎を輪切りにするように楽々と
悪魔の首を切り落とすジャガダムバーに、
何度も何度も、私は頭を下げます。
おお、アムバーよ、あなたは悪名高い悪魔シュムバとニシュムバを
瞬く間に倒しました。

第 12 節

ラーマ神の継母が分別を失った時、
彼女の罪ある推理が彼を森に追放した。
次に続く出来事を練り上げ、あなたは悪魔ラーヴァナの
征服をもたらし、そしてこうして
神々と人間に等しく幸せを生み出しました。

第 13 節

誰があなたの栄光と称賛を適切に歌えるのでしょうか。
あなたはルドラとヴィシュヌ神の守護者ですらあります。

第 14 節

ラクタ、ダンティカー、そしてシャタークシーのような悪魔を滅ぼす者として

あなたの偉大さには限りがありません！

おお、ドウルガーよ、あなたはこの地上で手ごわい仕事をしてきました——

全世界があなたの名前を繰り返すことに何の不思議もありません。

第 15 節

おお、大いなる母よ、あなたは障害や災いを取り除きます。

あなたが恩恵を授ける時はいつも、私たちに幸せをもたらします。

たとえ怒りに燃えた王が狩りに出るとしても、

あなたの慈悲によって森のシカは自由なままです。

第 16 節

近くに何の助けもない大海の真ん中で

船が荒れ狂う嵐で破壊される時、

あるいは、不運、悲しみ、または危険に付きまといられていると感じる時…

第 17 節

…あなたの名前を繰り返すことが幸運をもたらすことを

誰も疑うべきではありません。

家族の問題に悩んでいる者は

ジャパ、すなわち神の名前を繰り返すことの実践を通して

大いなる母への崇拝に向かうべきです。

第 18 節

この賛歌(チャーリーサー)を毎日朗唱する者は
神聖な美德を持った美しい子どもたちを持ち、
そして香をともし、食べ物をささげて女神を崇拝する者は
確実に守られるであろう。

第 19 節

大いなる母への献身に絶えず没頭している者は
動揺から自由になる。
もし束縛された魂がこの賛歌を 100 回朗唱するなら、
すべての苦悩と束縛は解放される。

第 20 節

おお、女神バヴァーニーよ、私はあなたに
私をあなた自身のもものと見なし——
あなたの恩恵を私に授け、
私を世俗から自由にすることを懇願します。

ドーハ(祝福の祈り)

おお、大いなる母よ、私の存在が暗闇の中にいる間も、
あなたは太陽の光のように輝いています。
どうか世俗の深い淵に沈むことから私を守ってください。
おお、母なるサラスワティーよ、聞いてください！
私に力、理解、そして知恵を授けてください。
どうか、お願いします、私に保護を与えてください。



© 2021 SYDA Foundation®. 著作權所有。